

県議会おおい

No. 102

大分県議会
平成28年6月発行

題字は、大分高等学校 3年
谷口 美帆 さんの作品です。

議員出前講座



大分県立芸術文化短期大学

議員出前講座とは…

議員が講師となり、県内の小中高等学校、大学等を訪問し、県議会の仕組みや役割、議会の最近の話題などを説明する講座です。

平成27年度は11校で実施しました。

目次

- ▶ 就任ごあいさつ…………… 1
- ▶ 平成28年第1回定例会…………… 2
- ▶ 新たに構成された委員会…………… 4
- ▶ トピックス・県議会今後の動き…………… 6



宇佐市立佐田小学校



大分市立野津原東部小学校

そのような中で県議会としては、県民の皆様の声に真摯に耳を傾け、様々な発想や自由なご意見・考えを伺い、各選挙区から選出された議員が執行機関と真摯な議論を重ねながら、激動の時代に何が具体的に出来るのかということを決めていくことで、大分県の進むべき新たな道が開けると考えております。また、その道の先には、世界中で大分県があつてよかったと言われるようなになればと思っております。

今後とも、議長の補佐役として、公正・円滑な議会運営はもとより、県議会の活性化さらには大分県の発展のために、誠心誠意努力してまいりますので、皆様の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。



大分県議会副議長
末宗 秀雄

就任ごあいさつ

県民の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

私は、先の第1回定例会県議会におきまして、副議長という大役を仰せつかり、このうえない光栄でありますとともに、身の引き締まる思いであります。

我々の生きる現代は、科学の急速な進歩により人工知能が人間を追い越すような時代となつてきております。また、グローバル化する世界の中で、社会・経済は急速に変化しており、都市部が優位であった時代から、もはや地方は工夫次第で世界と直結するような時代になつていくように思っております。

平成28年 第1回定例会

2月24日から3月25日までの会期31日間で開催しました。

開会后、田中議長による諸般の報告に続き、「安心・活力・発展プラン2015」の政策実現や地域経済活動の後押しに向けた施策を盛り込んだ平成28年度大分県一般会計予算案など、議案等49件が提出され、広瀬知事が提案理由を説明しました。

3月3日、4日に行われた代表質問には3人の議員が、また、7日から9日に行われた一般質問には、12人の議員が登壇し、県政運営や人口増対策などについて、執行部と活発な議論を行いました。

各常任委員会は、3月2日、17日、18日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。

閉会日の3月25日には、副議長の辞任に伴う選挙が行われ、第96代副議長に末宗秀雄議員が就任しました。

今定例会では、知事提出議案等65件について可決・同意・承認し、議員提出議案9件を可決、請願1件を採択、1件を取下げ可、4件を継続審査としました。

会期中には、延べ569人の方々が本会議や委員会を傍聴されました。

代表質問

3月3日(木)



自由民主党
衛藤 明和議員

- ▼ 地方創生の実現
 - ▼ 県民総活躍
 - ▼ 農林水産業の振興
 - ▼ 社会資本整備
 - ▼ 教育行政を巡る諸課題
- ほか

県政運営

問 平成28年度における県政運営の基本方針を伺う。

答 28年度は、「安心・活力・発展プラン2015」と「地方創生総合戦略」の実現に向け、本格的な取組をスタートさせる大事な年である。

従って、県政推進の基本方針の一つ目は、「安心・活力・発展の大分県づくり」へのさらなるステップアップへの挑戦、二つ目は、地方創生に向けた取組の充実・強化である。

「安心」の分野では、「子育て満足度」、「健康寿命」、「障がい者雇用率」の3つの日本一に挑戦する。

「活力」の分野では、農林水産業について、攻めの農林水産業への転換を急ぐとともに、新規就業者の一層の確保・定着を図

る。商工業については、時代の変化に対応した企業誘致などに取り組むとともに、創業の裾野拡大やベンチャー企業の成長促進、クリエイティブ産業にも挑戦する。

「発展」の分野では、「教育県大分」の創造を目指し、また、国民文化祭やラグビーワールドカップなどの開催に向けた取組を進める。地域間競争の基盤として、中九州横断道路などの整備を加速するとともに、九州の東の玄関口としての拠点づくりにも取り組む。

「地方創生」の分野では、「人づくり」、「仕事づくり」、「地域づくり」、「基盤整備」の4つの柱のもと、今後5年間の足がかりとなる施策を充実・強化する。スピード感を持って「プラン2015」と「地方創生総合戦略」の実現を図っていく。

人口増対策

問 今後の人口増対策について伺う。

答 昨年10月策定の大分県人口ビジョンでは、今世紀末までには増加に転じさせ、100万人近い人口を維持することとしている。このため、今後5年間の総合戦略では、自然増と社会増の両面から対策を進めることとしている。

自然増対策では、「人を大事にし、人を育てる」ことが重要であり、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援や、健康づくり運動の推進等を通じて、子どもを生ま育てやすい環境づくりや健康長寿の社会づくりを進める。

社会増対策では、まずは「仕事をつくり、仕事を呼ぶ」ことである。農林水産業や商工業、観光・ツーリズムなど、様々な分野に働く場を確保する。

こうして、自然増対策や社会増対策を充実するとともに、大分県の魅力を発信しながら、若者の県内定着やUIJターン促進に力を入れる。

国が発表した平成27年度人口移動報告では、本県は全国で唯一転出者数が減少しており、しかも2年連続の減で、大変勇気づけられたところである。これからも市町村としっかり連携しながら、人口減少対策を講じていく。

3月4日(金)



県民クラブ
尾島 保彦議員

- ▼ 地方創生
 - ▼ 産業振興
 - ▼ 子どもの貧困対策
 - ▼ 人権尊重社会の推進
 - ▼ 防災対策
- ほか



公明党
吉岡美智子 議員

- ▼ 県政運営
 - ▼ 消費税の軽減税率制度
 - ▼ 労働行政を巡る諸課題
 - ▼ 介護離職ゼロ
 - ▼ がん対策
- ほか

芸術文化・スポーツの振興

問 芸術文化・スポーツによる
県政の振興について伺う。

答 県民一人ひとりが生きがいを持ち、充実した生活を送るとともに、地域を元気にするためには、芸術文化やスポーツの持つ力を最大限に生かしていくことが重要である。

このため、2018年の国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭2019年のラグビーワールドカップの2つの大会を本県に誘致したところである。両大会を地域活性化の絶好の機会と捉え、県民総参加で実施することが、何よりも大切だと考えている。

国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭では、全ての市町村で文化イベントを実施し、ラグビーワールドカップでは、機運醸成のため、広く競技の普及に加え、「見る」スポーツとしても、ラグビーファンの拡大に努める。両大会がワクワク感いっぱいとなるよう、県民の皆さんと一緒に準備を進めていく。

一般質問

3月7日(月)



県民クラブ
玉田 輝義 議員

- ▼ 九州の東の玄関口としての拠点化
 - ▼ 子どもの貧困対策
- ほか



自由民主党
御手洗 吉生 議員

- ▼ 東九州自動車道
 - ▼ 介護人材の確保
- ほか



公明党
戸高 賢史 議員

- ▼ 半島振興
 - ▼ 医療を取り巻く諸課題
- ほか



自由民主党
嶋 幸一 議員

- ▼ 別府港の再編整備
 - ▼ 企業局の施設
- ほか

3月8日(火)



自由民主党
油布 勝秀 議員

- ▼ 人口減少対策
 - ▼ 新大分空港
- ほか



県民クラブ
後藤 慎太郎 議員

- ▼ 大分県の公共交通
 - ▼ 将来を見据えた大分県農業
- ほか



自由民主党
井上 明夫 議員

- ▼ 観光振興
 - ▼ 県産材の利用促進
- ほか



自由民主党(党籍なし)
荒金 信生 議員

- ▼ 温泉を活用した誘客促進

3月9日(水)



自由民主党
吉富英三郎 議員

- ▼ スポーツツーリズム
 - ▼ 温泉に関する研究施設
- ほか



県民クラブ
羽野 武男 議員

- ▼ 筑後川上流域の水環境保全対策
 - ▼ 花月川・有田川の災害復旧工事
- ほか



自由民主党
井上 伸史 議員

- ▼ 地方創生における市町村との連携
 - ▼ 空き家対策
- ほか



県民クラブ
久原 和弘 議員

- ▼ 人口減少社会の課題
 - ▼ 日出生台における米海兵隊の実弾撃訓練
- ほか

注：() 書きは識別のための表記

子どもの貧困対策

問 「子どもの貧困」を社会全体の問題として捉え、その対策についての社会的な合意形成を今後どのように進めていくのか伺う。

答 貧困の責任を未来ある子どもたちに負わせることのないよう、3月末に策定した「子どもの貧困対策推進計画」に基づき、しっかりと支援していく。

まず、教育の支援では、学校と福祉の受け皿のつなぎ役となるスクールソーシャルワーカーを全市町村へ配置する。また、生活の支援では、ひとり親家庭の子どもの居場所づくりなどを、保護者に対する就労の支援では、資格取得のため、返還免除規定のある資金の貸付を実施する。経済的な支援では、低所得世帯に対する放課後児童クラブの利用料減免などに取り組むこととしている。

計画実行初年度に当たり、子どもの貧困問題に関する連携・調整の場として、県に対策協議会を設置する。さらに、トップセミナーやシンポジウムを開催し、貧困の解決に向けた意識付けや社会的機運の醸成に取り組んでいく。

全ての子どもが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指す。

東九州自動車道

問 東九州自動車道の県内区間における片側二車線化について見解を伺う。

答 東九州自動車道の全線開通に伴い人や物の往来が活発になっており、今後さらなる交流の拡大と経済効果の発現が見込まれている。

しかしながら、ネットワークを繋ぐことを優先したことから、ほとんどの区間が暫定2車線で供用されており、対面通行の危険性や事故発生時の緊急車両の通行、救急搬送への支障といった課題もある。

高速道路の4車線化に向け、政府への提言等を行っている中、国は昨年11月に、車線数増加について迅速な対応が可能となるよう政令改正を行ったところであり、早期着手への期待が高まっている。

東九州自動車道の4車線化については、本県の横軸となる中九州横断道路や中津日田道路の整備とあわせ、九州の東の玄関口として本県の発展に不可欠であり、早期の実現を目指していく。

新規林業就業者の確保

問 新規林業就業者の確保対策を具体的にどのように展開

していくのか、これまでの取組の状況を踏まえ、県の考えを伺う。

答 就業者確保に向けては、これまで、就業前の若者に林業という仕事を知ってもらうため、説明会や作業体験の場を用意してきた。また、就業後についても、資格取得や技術習得に向けての研修を実施している。これらの取組により、平成26年度の新規就業者は、11年ぶりの高水準となる90名に達したところである。

こうした中、近年、林業事業体の間で、現場で即戦力となる人材を求める声が高まってきたため、28年度から、1年間にわたる長期の「おおいた林業アカデミー」を開設することとした。

また、新規就業者の確保・定着のため、就業環境や労働環境の改善を図っている。変化に富んだ自然環境を舞台とする林業は、就業・定着の敷居が一段高い仕事である。就業前後にわたる手厚い支援により、新規就業者の確保を進めるとともに、就業した方々が存分に活躍できる場をつくっていく。

可決された議案（議員提出）

●意見書（9件）

- ▽北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を求める意見書
- ▽高齢者の消費者被害を予防・救

済する法制度の実現を求める意見書

▽奨学金制度の充実等を求める意見書

▽性犯罪等被害者のためのワンストップ支援センターの設置等を求める意見書

▽再犯防止対策に関する支援の充実を求める意見書

▽軽減税率の円滑な導入に向けた事業者支援の強化などを求める意見書

▽地方公会計の整備促進に係る意見書

▽児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

▽TPPの影響に関する国民の不安を払拭し、対策の確実な実行を求める意見書

意見書は議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

採択された請願（1件）

▽大分県環境影響評価条例の改正を求めることについて

可決・承認等された議案等（知事提出）

●予算関係（27件）

▽平成28年度大分県一般会計予算
ほか

●条例関係（24件）

▽行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番

号の利用等に関する条例の一部改正について
ほか

●人事関係（3件）

▽人事委員会委員の選任について
ほか

●その他（10件）

▽大分県環境基本計画の策定について
ほか

●報告（1件）

▽訴えの提起について

新たに構成された委員会

◆議会運営委員会

（議会運営に関する事項、会議規則や委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を協議します。）

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 志村 学 |
| 副委員長 | 近藤 和義 |
| | 阿部 英仁 |
| | 井上 明夫 |
| | 嶋 幸一 |
| | 毛利 正徳 |
| | 井上 伸史 |
| | 守永 信幸 |
| | 藤田 正道 |
| | 小嶋 秀行 |
| | 玉田 輝義 |
| | 久原 和弘 |
| | 河野 成司 |
- （13人）

◆ 常任委員会

(本会議から付託された議案や請願の審査を行うとともに、担当する各部局に関する事項を調査します。)

総務企画委員会 (7人)

- | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 副委員長 自由民主党 | 委員長 自由民主党 | 委員長 おおいた維新の会 | 公明党 | 県民クラブ | 県民クラブ | 自由民主党 | 副委員長 自由民主党 | 委員長 自由民主党 | 委員長 自由民主党 |
| 井上 明夫 | 衛藤 明和 | 桑原 宏史 | 戸高 賢史 | 藤田 正道 | 木田 昇 | 志村 学 | 大友 栄二 | 麻生 栄作 | |

商工労働企業委員会 (7人)

- | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 県民クラブ | 県民クラブ | 自由民主党 | 自由民主党 | 副委員長 自由民主党 | 委員長 自由民主党 | 無所属 | 自由民主党 (党籍なし) | 公明党 | 県民クラブ | 県民クラブ | 自由民主党 |
| 原田 孝司 | 羽野 武男 | 田中 利明 | 油布 勝秀 | 衛藤 博昭 | 元吉 俊博 | 森 誠一 | 荒金 信生 | 吉岡 美智子 | 平岩 純子 | 守永 信幸 | 近藤 和義 |

農林水産委員会 (7人)

- | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 自由民主党 | 副委員長 自由民主党 | 委員長 自由民主党 | 自由民主党 | 自由民主党 (党籍なし) | 公明党 | 県民クラブ | 県民クラブ | 自由民主党 | 副委員長 自由民主党 | 委員長 自由民主党 | 県民クラブ |
| 阿部 英仁 | 吉富 英三郎 | 古手川 正治 | 佐々木 敏夫 | 河野 成司 | 小嶋 秀行 | 後藤 慎太郎 | 御手洗 吉生 | 木付 親次 | 土居 昌弘 | 久原 和弘 | |

文教警察委員会 (7人)

- | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 日本共産党 | 県民クラブ | 自由民主党 | 自由民主党 | 自由民主党 | 副委員長 県民クラブ | 委員長 自由民主党 | 自由民主党 | 県民クラブ | 県民クラブ | 県民クラブ | 自由民主党 |
| 堤 栄三 | 馬場 林 | 井上 伸史 | 末宗 秀雄 | 濱田 洋 | 二ノ宮 健治 | 嶋 幸一 | 玉田 輝義 | 尾島 保彦 | 三浦 正臣 | 毛利 正徳 | |

注：() 書きは識別のための表記

トピックス

◎防災士養成研修

議員として防災に関する専門知識を身に付け、議員自らが地域の防災リーダーとして地域に貢献するため、防災士資格を取得する取組を進めています。1月に行われた研修、試験には10名の議員が挑戦しました。



◎県議会防災訓練

2月17日に策定した「大分県議会災害時行動計画」に基づき、発災直後の初動体制を確認するとともに、防災意識の向上を図るため、南海トラフ地震が発生したという想定で、防災訓練を実施しました。



◎第2回県議会議員政策力向上研修会

議員の資質向上と政策力の一層の充実・強化を図るため、「県議会議員政策力向上研修会」を行っています。

第2回目は、2月3日、株式会社やまろ渡邊 代表取締役会長 渡邊正太郎氏を講師にお招きし、「産地間競争に勝ち抜く生産力と販売力の強化」をテーマにご講話いただきました。



◎第88回県議会56分勉強会

第1回定例会中の3月8日、公益財団法人 大分県産業創造機構 おおいたスタートアップセンター 所長兼ディレクター 櫻木 祐宏氏を講師にお招きし、「創業支援を通じた地域活性化について」と題して、ご講話いただきました。



県議会 今後の動き

平成28年第2回定例会の日程（予定）

- 6月14日（火）開会
- 20日（月）～22日（水） 本会議（一般質問）
- 23日（木）～24日（金） 常任委員会
- 29日（水）閉会

県議会の情報公開

- 県議会議員の資産等報告書などが閲覧できます。
 - ・閲覧できる報告書の種類 …… 資産等報告書、資産等補充報告書、所得等報告書、関連会社等報告書
 - ・閲覧できる人 …… 県民（県の区域内に住所を有する者）
 - ・閲覧時間 …… 午前9時～12時、午後1時～5時（土、日、祝日及び年末年始を除く）
 - ・閲覧場所及び問い合わせ先 …… 県議会事務局総務課 電話 097-506-5019
大分市大手町3丁目1-1（県庁舎新館1階）
- 政務活動費収支報告書などが閲覧できます。
 - ～平成27年度分の報告書は、7月4日（月）から公開予定です。～
 - ・閲覧できる報告書の種類 …… 収支報告書、政務活動費の支出に係る会計帳簿等
※収支報告書は県議会ホームページでも公開します
 - ・閲覧できる人 …… どなたでも
 - ・閲覧時間 …… 午前9時～12時、午後1時～5時（土、日、祝日及び年末年始を除く）
 - ・閲覧場所及び問い合わせ先 …… 県議会事務局政策調査課 電話 097-506-5032
大分市大手町3丁目1-1（県庁舎新館1階）

テレビ広報番組のお知らせ
「県議会タイム」

TOSテレビ放送（平成28年7月3日（日）午後3時40分から）
第2回定例会の概要や、各委員会の活動の様子を放送します。ぜひご覧ください。

広報誌「県議会おおいた」は、大分県情報センター、地区情報コーナー（各振興局）、県内各市役所、町村役場、大分銀行県内各支店に配布しておりますので、ご利用ください。

県議会ホームページでは…

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

検索



～子ども向けサイト「おおいた県議会キッズ」もあります～

お問い合わせは
県議会事務局
各課まで

【総務課】議会庶務、情報公開など
【議事課】本会議、常任委員会、傍聴など
【政策調査課】調査業務、特別委員会、議会広報など

TEL097-506-5019
TEL097-506-5022
TEL097-506-5035

点字版・音読版
「県議会おおいた」のご案内
本紙の点字版・音読版を作成しています。また、最新号の音読版はホームページにも載せています。詳しくは議会事務局政策調査課まで。

編集 大分県議会事務局

大分市大手町3丁目1-1
TEL 097-506-5035
FAX 097-506-1785